2023 年 10 月 12 日

キヤノン株式会社
キヤノンマーケティングジャパン株式会社

NEWS RELEASE

キヤノン初の産業印刷向け水性インクジェットラベル印刷機を発売
新開発のヘッド・インクと標準搭載の白インクにより幅広いラベル商材に対応

キヤノンは、産業印刷向けインクジェットラベル印刷機の新製品として、"LabelStream（ラベルストリーム） LS2000"を2026 年以降に発売します。

LabelStream LS2000

食品や日用品の外装に用いられるラベルは、製品ライフサイクルの短縮化により小ロット・短納期での生産が求められています。これに伴い、ラベル印刷機はアナログからデジタルへの移行が加速しています。新製品は、新開発のインク循環機構搭載の高精細プリントヘッドと高濃度ラテックスインクを採用し、最速で毎分 40m の高速印刷と高い稼働率、高品位な印刷を実現する、キヤノン初の産業印刷向け水性インクジェットラベル印刷機です。また、白インクの標準搭載や低耐熱フィルム、食品安全性基準※1 への対応によって、幅広いラベル印刷のニーズに応え、印刷事業者のビジネス拡大に貢献します。

■ インク循環機構を搭載した高精細プリントヘッドによる安定稼働

2,400×1,200dpi の高解像度を実現する新開発の長尺プリントヘッドによって、印刷幅は最大 340mm まで対応し、多面付けでの効率的な印刷ができます。また、インク循環機構を搭載し、インクを吐出するノズル内のインク粘度を最適化しています。高度な加工技術によって精緻な流路を実現したことで、高密度で配置したノズル一つひとつの先端までインクが循環し、安定した印字ができます。さらに、所定の累計印刷時間ごとに自動でクリーニングを行うメンテナンスシステムでプリントヘッドのインク吐出部分を良好な状態に保つため、高い印刷品位で長時間の連続印刷が可能です。

■ 高濃度ラテックスインクによる高品位なラベル印刷

広色域の印刷が可能な新開発のラテックスインクを採用し、色鮮やかなラベル印刷ができます。薄いインク層での印刷が可能で、表面の質感に特徴のあるラフ紙など、メディアの風合いを生かしたラベルを制作できます。

■ 白インクの標準搭載と低耐熱フィルムへの対応による高い商材対応力

標準搭載の白インクは隠ぺい率※2 が高く、透明なフィルムへの印刷時にカラーインクの下引きとして使用することで明瞭なカラー印刷ができます。新開発のインクは低温定着可能な材料を使用しているため、低耐熱フィルムへの印刷も可能です。加えて、FDA（米国食品医薬品局）認証や EU 規則などの食品安全性基準にも対応します。これにより、食品や化粧品などさまざまな商材の外装に使用されるラベル印刷ができます。

製品名	発売日
LabelStream LS2000	2026 年以降

＊日本市場に限った発売日です。海外での発売日は各国・地域の販売会社にお問い合わせください。
＊赤字部分は 2025 年 10 月 22 日更新。

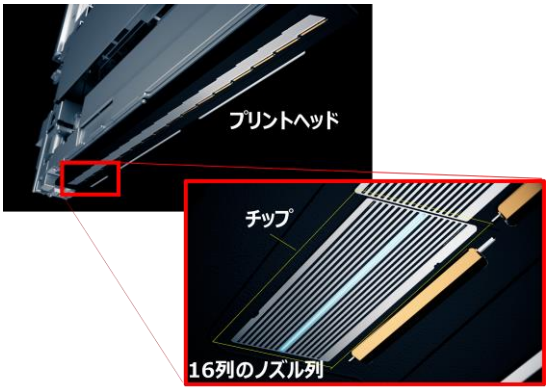
※1. 食品包装をターゲットにした FDA／EU ガイドライン上の安全性基準。食品に直接接しない面への印刷を前提としています。
※2. 上に印刷されたインクが下地の色を隠す度合い。

● 一般の方のお問合せ先 ：キヤノンマーケティングジャパン株式会社 リテイルフォト企画課 03-6719-9759

〈主な特長〉

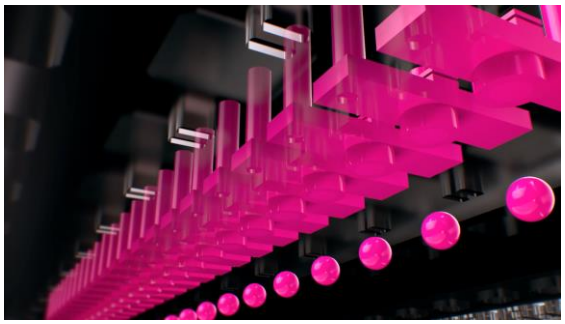
1） インク循環機構を搭載した高精細プリントヘッドによる安定稼働

- 2,400×1,200dpiの高解像度を実現する新開発の長尺プリントヘッドによって、印刷幅は最大340mmまで対応し、多面付けでの効率的な印刷が可能。
- インク循環機構を搭載したことでノズル内のインクの増粘を抑制し、最良な状態を維持。
- 高度な加工技術によって流路を精緻化したことで、高い密度で配置した各ノズルの先端までインクが循環し高品位の印字を実現。
- 所定の累計印刷時間ごとにプリントヘッドの自動メンテナンスシステムでインク吐出部分のクリーニングが実行されるため、印刷品位を保ちつつ長時間の連続印刷が可能。

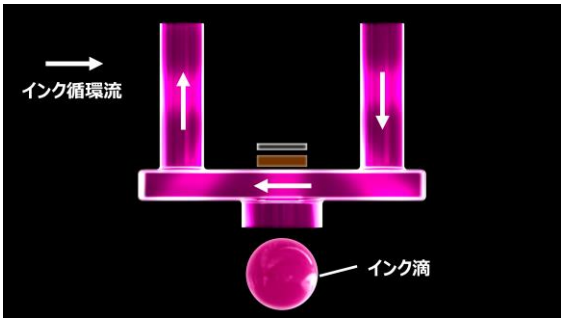


プリントヘッドに搭載されたノズル列

広い印刷幅を活かし、効率的な印刷が可能



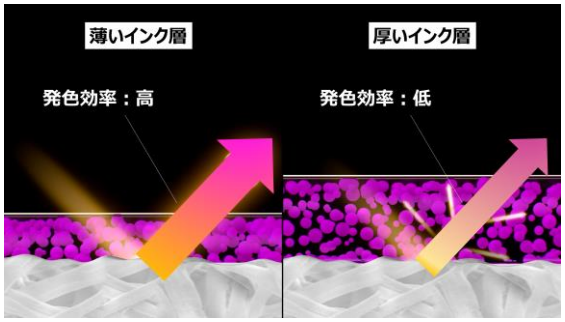
ノズル列からインクが吐出する様子



ノズル先端までインクが循環

2） 高濃度ラテックスインクによる高品位なラベル印刷

- 新開発の高濃度ラテックスインクは、少量でも色域の広い色表現が可能。
- 印字部にはメディア上でインクを固定するプライマーを付与し、鮮明で高発色な印刷を実現。
- 薄いインク層で光の散乱を抑制し、高発色な印刷を実現。表面の質感に特長のあるラフ紙などメディアの風合いを生かしたラベル制作が可能。



インク層の厚みによる発色効率の差

3） 白インクの標準搭載と低耐熱フィルムへの対応による高い商材対応力

- 標準搭載の白インクは隠ぺい率が高く、透明なフィルムへの印刷時にカラーインクの下引きとして使用することで明瞭なカラー印刷が可能。
- 食品や化粧品のラベル向けに使用されるコート紙・合成紙・フィルムに加え、低耐熱フィルムやラフ紙といった特殊なメディアへの印刷も可能。
- インクは FDA 認証や EU 規則などの食品安全性基準に対応。

幅広い商材のラベル（イメージ）

4） 高耐久部材による長期間使用に耐える堅牢性

- 負荷のかかる可動部品や摩耗しやすい搬送部の駆動系部品を強化したほか、厚く頑丈な高剛性フレームの採用により、振動影響を抑制し作像・搬送性能を確保。
- 商業印刷分野で培ってきた知見と技術を生かし、大量印刷を行う過酷な運用にも耐えうる高耐久性を実現。部品交換に伴う業務のダウンタイムを最大限低減。

5） 生産性に貢献する機能デザイン

- インク補充のタイミングを知らせるステータス LED を配置。コントローラーの UI 画面を見なくても直感的な認識ができ、最短導線でのインク補充作業が可能。

ステータス LED により、効率的な作業を支援

〈デジタルラベル印刷機の市場動向〉

商品の少量多品種化や短納期化が進む中、食品や日用品の外装に用いられるラベルの印刷業において、オンデマンド印刷やバリアブル印刷が可能なデジタル印刷へのニーズが広がりを見せています。高い生産性や高画質、幅広メディアへの対応のほか、食品安全性基準に適合したデジタルラベル印刷機への需要は高まりつつあり、成長性が期待されています。（キヤノン調べ）

〈Canon EXPO 2023 について〉

「Canon EXPO 2023」は、「Future Focused. Always. ～未来の可能性を、ひろげ続けよう～」をスローガンに、キヤノングループの目指す方向性を示す展示会です。時代の要請やビジネス環境の変化に適応し、事業ポートフォリオを大きく転換しつつある姿や、最新の製品やサービス、それを支える技術、社会へ貢献するソリューションを展示します。さらに、それらの技術を活用した新領域での取り組みも紹介します。生まれ変わったキヤノンの姿、そしてこれからも変化し続ける姿を是非ご覧ください。

Canon EXPO 2023

【Canon EXPO 2023 展示会概要】
●日時：2023 年 10 月 19 日（木）～10 月 20 日（金） 10：00～18：00（最終入場 17：00）
●場所：パシフィコ横浜ノース（神奈川県横浜市西区みなとみらい 1 丁目 1 番 2 号）
※来場には、事前申し込み（無料）が必要です。詳細はホームページをご参照ください。https://expo.canon/welcome/